

ベトナムでの評価試験延期

実習からの移行影響なし

国土交通省は、特定技能の在留資格に基づき、2020年2～3月に予定していたベトナムでの技能評価試験の実施について延期することを発表した。同国との間で全業種に適用される費用負担に関するガイドラインが策定に至っていないことから訓練生の募集が開始できず、年度末に試験を実施すると教育訓練を行う期間が十分できないと判断。延期の期間は未定だが、費用負担のガイドラインが策定された後、6～8カ月後をめどに技能評価試験を実施する。

国土交通省は9日に建設分野での技能評価試験の実施者である建設技能人材機構(JAC)に対し、実施延期を通知した。ベトナムで試験を実施するのは、▽左官▽コンクリート仕込▽型枠施工▽鉄筋施工▽建設機械施工▽土工▽鉄筋継手▽トンネル推進▽内装仕上げ▽屋根ふき――の10職

種。延期の対象はベトナムでの技能評価試験のみで、フィリピンでの電気通信の試験は予定通り20年3月に実施する。また、試験が免除となる技能実習などからの特定技能への移行には影響はない。これまで国土交通省とJACは、ことし6月のベトナム建設省との会談、9月の現地訓練校との業務提携覚書の締

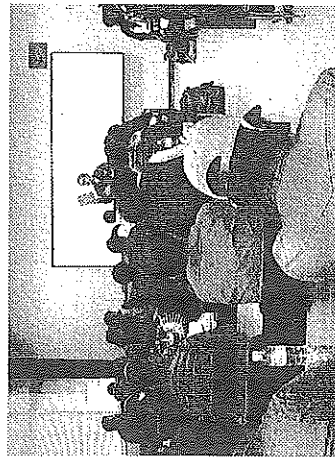
結、11月の日本国内でのテストの実施など技能評価試験の実施に向けて調整を進めてきた。

一方で、7月に公表された政府間の基本的な枠組みに基づいてベトナム労働者が速やかに決定する予定だった送り出しにかかる手数料や訓練費用の負担額を規定するガイドラインの作成が難航している。

現段階で同ガイドラインは決定されておらず、費用負担が決まらなければ訓練生の募集などは事実上不可能だ。技能教育や日本語教育には半年程度の期間が必要なため、試験の実施を後ろ倒しせざるを得ない格好となった。

関西鉄筋 技能検定講習

関西鉄筋工業協同組合(菅田正吉理事長)は、7、8の両日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専



検定受検予定者95人が参加

技能レベルの高さを引継ぐ

門校で、2019年度鉄筋技能検定の受検予定者を対象とした講習会を開いた。95人が参加した。

受講者らは技術委員からの丁寧な指導を受けながら、実際の組み立て作業や施工図面作成作業を行った。

立ち会った技術委員長菅田裕雄副理事長は「関西には優秀な技能を持つ人が多く、TETSU-1グループでも良い成績を収めている。その先輩方へ負けないよう、関西の技能レベルの高さを引き継いでほしい」と期待を寄せた。19年度鉄筋技能検定は施工図作成が20年1月19日、学科が2月9日、組み立て実技は同11、15、16日に実施され、合格発表は3月13日を予定している。

省交国 特定技能の現地試験延期

ベトナム政府費用指針決まらず

国土交通省はベトナム人が新在留資格「特定技能」を取得する技能評価試験の実施を延期する。ベトナム政府が準備する費用などに関するガイドラインが決定されないため、現地訓練校では訓練生の募集が開始できない。こうした状況下、国交省は訓練生に対し十分な教育訓練ができないと判断。当初年度内に実施予定だった試験を当分の間延期し、ガイドライン決定後おおよそ6〜8カ月後をめどに実施する。

試験が免除される技能実習生または建設就労者から移行するケースには関係ないので、ベトナム人に新しい在留資格が付与されないということではない。

「ベトナム国における技能評価試験の実施延期について」と題した土地・建設産業局長名の文書を、日本の受け入れ業務を一元的に担う建設技能人材機構（JAC、才賀清二郎理事長）に9日付で送付。改めて試験を実施することができよう準備を要請した。

日越両政府は特定技能外国人の送り出し・受け入れの基本的枠組みに関する協力覚書（MOC）を7月1

開設して教育訓練を開始し、来年2〜3月に試験を実施する予定だった。フィリピンでは来年3月に試験を実施する予定だ。

日に交わした。これに基づきベトナム労働省海外労働管理局（DOLAB）が作成するガイドラインには、送り出しにかかる手数料や訓練の費用について、日本側とベトナム側それぞれの負担額が定められる。当初はMOC公表後速やかにガイドラインが決定される予定だった。

建設分野で適正、円滑な受け入れを実現するため、国交省とベトナム建設省は6月に調整を始めた。JACは9月に教育訓練・試験を行う現地訓練校5校と業務提携。年内にもコースを

技能検定受験予定 95人参加し講習会

関西鉄筋工業協組

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は7〜8の2日間、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校で、2019年度後期鉄筋施工技能検定試験の受験予定者を対象とする講習会を開いた。写真。20年1月中旬に行われる施工図作成の実技試験と同2月上旬に行われる組み立て作業の学科・実技試験への備えとして毎年実施している取り組みだ。

講習会に立ち会った戸田裕雄副理事長・技術委員長は「上部団体の全国鉄筋工事業協会が15年度から1年おきに開催している全国鉄筋技能大会（TETSU-1グランプリ）で、関西の代表は第1回が3位、第2回と第3回は1位となっている。こうした関西のレベルの高さを引き継いでいくという思いで真剣に資格取得に取り組んでほしい」と期待を述べた。

